

平成29年1月1日

第83号

鵜戸

謹賀新年

平成28年11月、楼門改修工事を終へて



887-0101

宮崎県日南市宮浦3232番地

0987-29-1001 FAX0987-29-1003

鵜戸神宮ホームページ

<http://www.udojingu.com/>

発行者兼編集者
鵜戸神宮社務所

謹んで新春のお慶びを
申し上げます



宮司 本部雅裕

鵜戸を訪れた人々④ 野田泉光院

平成二十九年の始めにあたり、御皇室の愈々のお
栄えをお祈り申し上げます。

また、氏子崇敬者の皆さまには、本年も平穩にお
過ごし下さいますやう念じをります。

さて今回は、今から二〇四年前に鵜戸山に詣でた
僧、野田泉光院についてご紹介致します。泉光院は、
佐土原藩の真言宗安宮寺第八代住職で修験僧、山伏
です。文化九年（西暦一八一二）、満五十六歳のとき
日向の国佐土原を旅立ち、六年後の文政元年十一月
に再び故郷の土を踏んでゐます。この間南は鹿児島
から北は秋田まで、従者の平四郎を連れ、徒歩で全
国の九峰行脚の旅をしました。「九峰」すなはち、英
彦山、石槌山、箕面山、金剛山、大峰山、熊野山、

富士山、羽黒山、湯殿山の全山に登ったのでした。
その全行程は二万kmをはるかに超すと云はれてゐま
す。一日に六十kmを歩いたこともありました。行脚
中の手記は修験僧の旅日記として残つてをり、のち
に『日本九峯修行日記』として刊行されました。
泉光院一行は、佐土原から宮崎、内海を経て、出
発してから七日目の九月十一日には全国行脚の先づ
始めに鵜戸山に詣で、次のやうに記してゐます。

鵜戸山迄三里の峠あり、午の刻詣づ。當洞は鵜
茅茨葺不合命御誕生の地にて、仁王護國寺と云ふ。
寺中十二坊、椽六百石此洞穴深さ二十五間、幅同斷、
内に宮柱太敷立ちて美々敷事也。奉納二王經一部。
鵜の羽風身に入む洞の内と外

納經濟み、一汁二菜の掛合出る。夫より鳥居峠と
云ふを越す、飢肥領第一の峠也。

と、鵜戸山大権現は御祭神の生誕の地で、別当寺は
仁王護國寺であること。境内には十二の僧坊がある
こと。それに祿高と神窟の広さを記し、「宮柱太敷立
ちて美々敷事也」と、神窟内の御殿が大きく立派で、
朱塗りの色も鮮やかで美しいことなどを記述して、
一句詠んでゐます。そこで泉光院は、真言密教で重

んじる經典の「仁王護國般若波羅密多經」一部を奉
納します。これに対し仁王護國寺は、一汁二菜の輕
食を出してもてなしてゐます。

かうして鵜戸山詣でをすませた主従二人は、鳥居
峠を経て飢肥城下の伊勢屋に泊まつてゐます。ここ
でおもしろいことがおこります。一行は笈を背負ひ
金剛杖をついた乞食のやうな格好だったので、一般
の旅人が泊まる粗末な部屋に入れられます。夜になつ
て手洗ひに行くとき、泉光院はわざと菊の御紋章の
ついた提灯に火を入れます。それを見た宿の者は驚
いて泉光院への扱ひをがらりと変へ、さつそく奥座
敷に招き入れ、さらに翌日の朝食までもがよくなつ
た。と記してゐます。泉光院の旅は、修験道の本山
醍醐寺の公用、門跡つまり皇族の命を受けた「修験
見聞き役」としての調査の旅でしたから、菊の御紋
章の使用が認められてゐたのです。

その後一行は、鹿児島を経て北は秋田まで、九峰
を登攀しながら日本中を托鉢行脚してまはります。
長崎や江戸にも立ち寄つて観光もしてゐます。宿泊
はほとんどが民家にお願ひしてゐますが、なかには
十日も二十日も連泊して食事などお世話になること
もありました。その間は、病氣の人がゐれば平癒の
祈禱をし、家事の相談にも応じてゐます。

かうして、江戸から大坂、大分、延岡を経て、六
年二か月の旅を終へた泉光院一行は、やうやくふる
さとの佐土原に帰り着き、長い旅を終へたのでした。
今、安宮寺は廃寺となり、泉光院は佐土原の大光寺、
従者の平四郎は誓念寺の墓地に眠つてゐます。
新年を迎へた鵜戸神宮、そして古い歴史と由緒深
き鵜戸山へ、皆さま今年もどうぞお揃ひでお詣り下
さい。

(参考) 野田泉光院遺著 『日本九峯修行日記』
石川栄輔著 『大江戸泉光院旅日記』



野田泉光院 自画像
『鵜戸さん』より転載



優勝奉告祭
大空に舞心鯉幟



必勝祈願祭

広島東洋カープが、二十五年ぶりにセントラルリーグを制覇しました。昭和三十八年から日南市で春期キャンプを行ひ、毎年二月に当神宮で必勝祈願祭を斎行してゐます。セ・リーグ優勝の翌日から一週間、悲願達成を祝つて境内にカープの応援歌を流し、大空に鯉幟が舞ひました。また、十一月八日には、優勝奉告祭を広島東洋カープ関係者参列のもと斎行しました。

祝セ・リーグ優勝



広島東洋カープ応援ツアー
埼玉西武ライオンズ応援ツアー



ブロック除去作業
作業後



職員研修旅行を四班に分け実施しました。六月三日、広島県にて日南市主催のカープ応援ツアーに参加。六月二十三日・七月七日、熊本地震で被災した熊本縣護國神社で坂本宮司に被災時の状況を伺ひ、その後瓦礫やブロックなどの除去作業を行いました。九月十一日、福岡県にて日南市主催の埼玉西武ライオンズ応援ツアーに参加しました。

職員研修旅行



奉納の獅子頭
奉納獅子頭での獅子舞



延岡市在住の面師 弓削孝様から、「蘭陵王面」「環城菜面」「納曾利面」に引続き、十一月三日、新たに【獅子頭二頭】を奉納頂きました。

獅子頭奉納



河野様燈籠 (楼門側)
清水様燈籠 (休憩所前)



八月二十七日、宮崎市在住の河野八州男様と栄一様並びに東京都在住の清水雄二・良美ご夫妻が、鵜戸の大神様の御恵に感謝され、燈籠を奉納されました。

燈籠奉納



稲刈り



参進
祭典の様子



七月二十二日、御神田にて古式ゆたかな伝統行事「抜穂祭」が、責任役員始め氏子崇敬者多数の参列のもと斎行されました。JAはまゆう女子職員三名が刈女を奉仕し、祭典終了後には、鵜戸小中学校児童も参加。鎌の使ひ方を氏子に教はりながら慎重に稲を刈り取りました。刈り取られた稲は、伊勢神宮に神嘗祭の縣税として奉納しました。

抜穂祭



子供神楽
献上品



修祓
宮司祝詞奏上



今年収穫された穀物を神々に捧げ、その御恵みに感謝する新嘗祭が、十一月二十三日宮中をはじめ全国の神社で斎行されました。当神宮においても午前十時半より宮司以下祭員によりて厳肅に執り行ひました。本殿前には、県内の醸造会社をはじめ、市内菓子店、農業関係者、篤農家などから多数の地場産品が献上されました。

新嘗祭



茅の輪神事
楼門前にて



六月三十日、午後三時より大祓式「夏越の大祓」を斎行しました。茅の輪神事は、邪気・災難を祓ひ去り、暑気にも負けず健康な生活を送ることが出来ると伝えられてゐます。

六月大祓式



豊栄の舞
舞楽 納曾利



十一月三日、明治祭・秋の縁日大祭を斎行しました。奉祝行事として、舞楽 納曾利・豊栄の舞・鵜戸さん獅子舞を奉納しました。

明治祭・秋の縁日大祭

子供神楽

榊の舞 日々の生活で身についた災ひや穢れ(気枯れ)を清々しく祓ひ清める舞

濱田 ひなた

献穀の舞 今年収穫されたお米を俵に詰めて、神様にお供へして感謝する舞

高橋 隼生
高橋 愛翠

えびすの舞 魚介類をはじめとする自然の恵みに感謝する舞

外山 滉大
高橋直太郎

鈴の舞 今日まで過ごせたことの喜びと、今後益々の幸せを祈る心を、鈴の音により表現した舞

大迫 美友

楼門改修工事

十月三日、楼門改修工事安全祈願祭を齎しました。今回の改修工事は、老朽化に伴ふもので平成二年以来の大規模な改修工事です。十二月十五日に竣功奉告祭を齎し、美しく蘇った姿で皆様の参拝をお待ちしてゐます。



改修工事の様子



敬神婦人会



弥五郎どんの館にて

十月十九日、参加者三十一名で都城へ研修旅行を行いました。都城市内の神柱宮と山之口町の野正八幡宮を参拝し、焼酎の製造工場の見学等も行いました。

災害状況

七月八日、大雨の影響で市道鵜戸参宮線前回、陥没した付近)が大規模な土砂災害に遭ひ通行止めになりました。八月十三日より時間規制を設けて片側交互通行となつてをり、完全復旧は、平成二十九年夏頃を予定してをります。通行可能な時間は、午前八時〜午後四時。それ以外の時間は、観光駐車場をご利用下さい。



崩壊後 7月8日 7月24日



8月6日 現在の様子



社務日誌抄

- 1月1日 歳旦祭
- 1月2日 初日供祭
- 1月3日 映画「ねぼけ」吉岐紀仁監督参拝
- 1月7日 昭和天皇御陵遥拝式
- 1月10日 恵比須神社例祭
- 1月11日 成人祭
- 1月16日 古神符焼納祭
- 1月18日 新富町ふるさと勉強会十六名参拝
- 1月26日 天皇皇后両陛下比津賓共和国御渡航
- 1月25日 行幸啓安泰祈願祭
- 1月25日 宮崎神宮敬神婦人会百野会長他四十四名参拝
- 1月31日 天皇皇后両陛下比津賓共和国御渡航
- 2月1日 還幸啓奉告祭・例祭前夜祭
- 2月2日 吾平山上御陵祭
- 2月3日 節分祭
- 2月5日 第44回四半的弓道大会
- 2月6日 埼玉西武ライオンズ選手四名参拝
- 2月7日 鵜戸稲荷神社例祭
- 2月8日 第63回剣法発祥鵜戸山顕彰剣道大会
- 2月10日 広島東洋カープ必勝祈願祭
- 2月11日 読売巨人軍高橋由伸監督参拝
- 2月17日 祈年祭
- 2月25日 神社本庁木田部長他一名参拝
- 2月27日 崎田日南市長、吹田市議会議員六名参拝
- 3月13日 國學院久我山高校百六十九名参拝
- 3月17日 御神田清祓祭
- 3月20日 春季皇霊祭遥拝式・春分祭
- 3月22日 皇學館大学神道学科木村氏他十一名参拝
- 3月23日 海上自衛隊鹿屋航空基地隊員参拝
- 3月23日 御田植祭
- 3月25日 宮崎県警野口本部長他一名参拝
- 3月26日 春の緑日大祭・誕生感謝奉告祭
- 3月27日 第30回シャンシャン馬道中現
- 3月30日 第30回シャンシャン馬道中再現
- 3月30日 林野庁牧元林政部長他十二名参拝
- 4月11日 武井衆議院議員、小西美術工芸アドバイザー社長参拝
- 4月15日 鵜戸稲荷神社鳥居石段改修工事祈願祭
- 4月29日 昭和祭
- 5月1日 氏子総代委嘱奉告祭
- 5月4日 天皇皇后両陛下御参拝記念祭
- 5月5日 神御衣祭・節句祭・いさみ太鼓奉納
- 5月6日 大峰蛇之倉七尾山山口神直氏他三名参拝
- 5月9日 崇敬者総代委嘱式
- 5月10日 久能山東照宮落合宮司他一名参拝
- 5月17日 別当宮司先賢慰霊祭
- 6月1日 責任役員委嘱奉告祭
- 6月7日 神社本庁特別協賛員四十一名参拝
- 6月30日 住吉神社例祭・九柱神社例祭・大祓式
- 7月6日 日南地区産業安全祈願祭
- 7月8日 大雨の為、市道鵜戸参宮線崩壊
- 7月16日 ふじやま学校北山邦子氏他六名参拝
- 7月22日 古川衆議院議員、市道崩壊現場視察
- 7月22日 抜穂祭
- 7月25日 南那珂支部研修会開催
- 8月13日 市道鵜戸参宮線道通行止め解除
- 8月17日 マーク・エステル氏他九名参拝
- 8月31日 日南海岸伊勢海老豊漁祈願祭
- 9月5日 県議会星原議長、市議会安竹議長他三名
- 9月13日 市道鵜戸参宮線崩壊現場視察
- 9月18日 宮崎県神道青年会ブロック会開催
- 9月22日 書家寺原聖山氏他十七名参拝
- 9月22日 秋季皇霊祭遥拝式・秋分祭
- 9月29日 ななつ星プレミアム乗車者二十八名参拝
- 10月3日 楼門改修工事安全祈願祭
- 10月6日 南那珂支部神宮大麻・磨頒布始奉告祭
- 10月16日 那覇市長他五名参拝
- 10月17日 神嘗祭遥拝式・神嘗奉祝祭
- 10月23日 長峯誠参議院議員他一名参拝
- 10月27日 福智神社例祭
- 10月29日 洲本八幡神社酒井宮司他八名参拝
- 11月3日 明治祭、秋の緑日大祭、誕生感謝奉告祭
- 11月5日 宮内庁桃山陵墓管区事務所長他参拝
- 11月6日 平成遷座記念祭
- 11月7日 神御衣祭
- 11月8日 広島東洋カープセ・リーグ優勝奉告祭
- 11月18日 海上自衛隊掃海隊航海訓練安全祈願参拝
- 11月23日 新嘗祭
- 11月24日 平濱八幡宮青木宮司他四名参拝
- 12月15日 楼門竣功奉告祭
- 12月23日 天長祭
- 12月27日 煤払祭・亀石注連縄張替へ絵馬掛け替へ
- 12月31日 大祓式・除夜祭

命名

福岡県 蛭原 凱清 様
 (平成二十七年十二月十一日生)

宮崎県 宮田 里奈 様
 (平成二十八年一月十四日生)

宮崎県 榎木田太郎 様
 (平成二十八年二月十三日生)

宮崎県 工藤 帆華 様
 (平成二十八年三月十三日生)

宮崎県 森重 晃 様
 (平成二十八年九月二十八日生)

宮崎県 品原 彩乃 様
 (平成二十八年十一月十六日生)

ご結婚おめでたう
 ございます

宮崎県 笹尾 邦彦 様
 瑞花 様
 (平成二十八年二月六日)

宮崎県 谷口 晶彦 様
 かなみ 様
 (三月十二日)

宮崎県 武田 劍二 様
 秋穂 様
 (三月二十七日)

東京都 澤山 慧 様
 美咲 様
 (五月四日)

宮崎県 山本 大貴 様
 彩果 様
 (六月四日)

千葉県 田中 辰樹 様
 杏梓咲 様
 (七月九日)

宮崎県 三門 正季 様
 美香 様
 (七月十日)

宮崎県 大村 勇太 様
 望美 様
 (九月二十八日)

結婚式のご案内

鵜戸神宮では、ご希望により、ご本殿でも挙式を斎行できます。お気軽にお問ひ合はせください。

挙式初穂料
 儀式殿 五〇、〇〇〇円
 ご本殿一〇〇、〇〇〇円



伊勢の大麻(御神札)をお受けしませう

○新年には地元の氏神様、もしくは当神宮で新しい神宮大麻をいただき各家庭におまつりください。

賀正

宮司 本部 雅裕
 権宮司 中武 信明
 禰宜 河野 博文
 禰宜 伊東 健治
 権禰宜 淵田 賢二
 権禰宜 中原 慎太郎
 権禰宜 高橋 嘉樹
 権禰宜 磯野 英志
 権禰宜 佐師 慶保
 権禰宜 安藤 祐一郎
 出仕 間瀬 田哲生
 齋女 徳地 亜紀
 齋女 福山 詩織
 巫女 川口 真美
 巫女 宮本 枝里架
 巫女 谷口 綾香
 巫女 築島 里沙
 巫女 大嶺 麻鈴
 巫女 本部 明歩
 巫女 岩下 香奈恵
 巫女 湯浅 好一
 衛士 長友 英樹
 衛士 後藤 秀樹
 衛士 川瀬 真
 宮務員 山下 美代子
 宮務員 南 初代

編集後記

○社報八十三号をお届けします。
 ○表紙の写真は、改修工事が終はった楼門です。楼門の二階部分には門守社が鎮座され、参道入り口をお守りされてゐます。
 ○日本シリーズでは、借しくも敗れた広島カープですが、本年こそは三十三年ぶりの日本一の栄冠を勝ち取って欲しいと願つてゐます。
 ○今回は、煌びやかな運氣上昇守と当神宮の神使うさぎの縁起物熊手うさぎ・福籠うさぎをご紹介します。
 ○参拝の際にお声掛け頂ければ、洞内をご案内致しますので、お気軽にお申し出下さい。
 ○新しい年が良き年でありますやう、皆様のご多幸を鵜戸の宮居よりご祈念申し上げます。
 (佐師)

